

日本労働年鑑 第56集 1986年版
The Labour Year Book of Japan 1986

第二部 労働運動

XII 政党

2 選挙

2 都議選

昭和六〇年代初の大型政治戦

東京都議選は八五年六月二八日に告示され、七月七日に投票がおこなわれた。この都議選は、中曽根内閣が軍事費増、国鉄の分割民営化、教育改革、税制改革などの懸案を抱えて迎えた大型中間選挙であり、昭和六〇年代に入ってから初めての大型政治戦であった。またこの選挙は、二期目の折り返し点を過ぎた鈴木都政が都財政の再建に区切りをつけ、都庁舎の新宿移転を突破口に「マイタウン東京構想」の具体化に信任を問うものとしての意味をもっていた。この点で、都議選は、鈴木都政にたいする都民の審判をあおぐだけでなく、昭和六〇年代の政治動向を占うという面でも注目された。定数一二七をめざしての競争率は一・七七倍で、過去最低（七三年、一・七八倍）を下回る史上最低倍率の少数激戦となった。

定数は正

今回の都議選は、八四年一二月一三日に都議会を通過した「三増三減」案にもとづく定数は正後初の選挙であった。そのため、「違憲状態」判決が相ついで出されている衆院に先んじておこなわれた議員定数の是正が選挙結果にどのような影響を及ぼすかが注目された。結果は第90表のとおり、増員区での社会党の攻勢、減員区での自民党の防戦が際立つものとなった。自民党は千代田区で現職二人を一人に絞り、台東区で現職一人を失ったものの、中央区で一議席を守り、増員された西多摩では二議席を独占するなど健闘している。公明党は、中央区で自民党に破れて全都唯一の落選者を出したものの、台東区と八王子では現議席を守った。社会党は、増員された八王子と府中で一議席ずつ新議席を獲得し、前回立候補を見送った西多摩でも新人を擁立するなど善戦した。

定数は正の影響は、投票率にも顕著に現われた。定員減のため一人区の小選挙区制となった千代田区では優勢な自民党候補に共産党だけしか対立候補をたてなかったために実質的な無風選挙区となり、前回を一〇%以上下回って四一・六四%となった。反対に中央・台東の両減員区は少数激戦となったために投票率が上昇し、いずれも前回は上回った。また、西多摩・府中の増員区でも、議席増をめざした新人議員が立候補したために激戦となり、前者では一四%以上、後者でも四%あまり投票率が上昇した。前回は二%弱下回った八王子でも、投票率自体は六四・二四%と、全都平均を一〇%以上上回る高率を示した。

自民圧勝、社会大敗、公・共の前進

選挙の結果は第91表のとおりである。自民党は改選前議席を五上回る五六議席で、前々回の七七年七月選挙と同数に回復し、得票率もこのときの三六・一%に匹敵する三六・〇%を獲得、「保守

復調」を裏づける形となった。なお、自民党は七月八日に島部の無所属議員を追加公認し、五七議席に増加した。

公明党は、立候補者三〇人のうち定数減となった中央区で一人を失っただけの二九人当選というほぼ完全な勝利をおさめ、改選前議席を二議席上回った。このうち、足立区と世田谷区は大田区につぐ複数議席の初挑戦に成功したものである。同党の得票率も、二一・一％と過去最高を記録した。

これにたいして、同じく鈴木都政与党の一角を占める新自クは改選前より一減、前回当選者より二減の六議席となり、一時の「ブーム」が過ぎ去ってしまったことを如実に示した。民社党も、改選前より一減、前回当選者数より三減の二議席とふるわず、得票率も過去最低の三・〇％に転落した。

他方、野党のなかでは共産党が改選前を上回る一九議席と野党第一党の地位を強めた反面、社会党が、増員区での善戦にもかかわらず、改選前を四下回り、一一議席にとどまった。同党の得票率も一一・七％に低落し、議席・得票率ともに史上最低となった。

また都議選の投票率は各地で伸び悩み、定数是正などで激戦となつた九選挙区で前回は上回ったものの、全都平均では過去最低だった前回の五四・二三％を下回る五三・五〇％を記録し、過半数をやつとこえるだけの史上最低の投票率となった。

なお、七月二四日、新しい都議会の会派結成届が出そろった。それによると、新勢力分野は、自民党五七人(改選前五一人)、公明党二九人(同二七人)、共産党一九人(同一六人)、社会党・都民会議一二人(同一五人)、民主クラブ〇人(同一三人)＝新自ク、民社、与党系無所属議員で構成、となり、与野党の比率は改選前と変化していない。

日本労働年鑑 第56集 1986年版

発行 1985年12月5日

編著 法政大学大原社会問題研究所

発行所 労働旬報社

2001年8月15日公開開始

■ ←前のページ 日本労働年鑑 1986年版(第56集)【目次】 次のページ → ■
日本労働年鑑【総合案内】

法政大学大原社会問題研究所(<http://oisr.org>)
